

政策評価調書(30年度実績)

政策名	「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実	政策コード	Ⅲ-4	関係部局名	企画振興部、商工観光労働部、土木建築部
-----	----------------------------	-------	-----	-------	---------------------

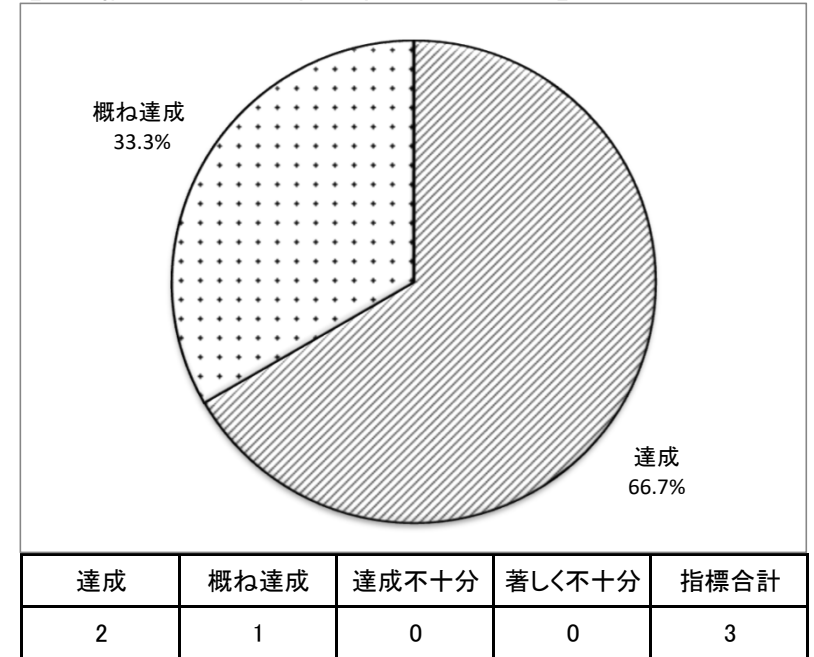
【Ⅰ. 政策の概要】

フェリー、航空機、長距離バスなどの広域公共交通ネットワークの充実、フェリーターミナルや港湾の機能強化など、九州の東の玄関口として人や物の流れの拠点化を推進するとともに、広域道路交通網整備や東九州新幹線の整備計画路線格上げに向けた取組の強化、産業や生活を支える道づくり、快適な都市空間の形成などを進め、まち・ひと・しごと創生を支える基盤を整備する。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	人の流れ、物の流れの拠点づくり	達成	A
2	広域交通ネットワークの整備推進	達成	A
3	まちの魅力を高める交通ネットワークの構築	概ね達成	A

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

東九州自動車道の北九州市から宮崎市までの開通により九州の循環型高速道路ネットワークが形成され、人の流れ、物の流れが活性化している。本県は、本州・四国との間を結ぶ多くのフェリー・RORO船航路を有し、海路と陸路の結節点に位置することから、「九州の東の玄関口としての拠点化戦略」に基づき、フェリーの利用促進やフェリーの大型化に対応した計画の策定、RORO船の増便や港湾利用ニーズに対応した港湾施設の整備促進などに取り組み、多くの人・物が本県を介して九州内外を行き来する状況をつくることで、経済活性化・雇用創出を促進し、地方創生を加速することとしている。

東九州新幹線については、H28年に「大分県東九州新幹線整備推進期成会」を設立し、国への要望や機運醸成に向けたシンポジウム開催など、整備計画路線への格上げに向けた活動に取り組んでいる。

また、広域道路交通網の形成や大規模災害時のリダンダンシー確保の観点から、中九州横断道路や中津日田道路などの地域高規格道路の整備等を推進するとともに、東九州自動車道の4車線化整備を促進する。

更に、都市部における交通渋滞の解消や公共交通の利用促進、通学路の交通安全対策等にも、引き続き取り組む必要がある。

【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—